



臓器移植者から

No. 16

拝啓

寒さも一段落し、ようやく春の気配を感じられる季節となりました。

このたびは、誠にありがとうございました。

ドナー様、ご家族様のご意思に心から感謝を申し上げます。

私は、十年程前に肺の病気が見つかり、それ以来徐々に悪くなって来ておりました。どこへ行くのにも酸素と一緒にでした。お医者様から「移植以外に治療法が無いです。」と伝えられた時はとてもショックが大きかったです。

ところが、丁度一年前に移植のお話を頂き、無事手術を受ける事が出来ました。

移植後の検査では、特に異状は見当たらず、日を増す事に元気を取り戻しつつあります。お陰様で現在では、いろいろな行動が出来る様になりました。

今までの私は、酸素を引いていても、お買い物や外出に一人で行けず、二階への階段も登り降りするのにとても苦しく大変な移動作業でしたが、移植後は、ひとりで外出も出来る様になり、又、坂道や階段もゆっくりですが、登り降りが出来るまでになりました。

これからは、ドナー様に助けて頂きながら前向きな気持ちで少しでも長生きをする事で、ドナー様とご家族様の思いを無駄にしない様に体を大切に労りながら生きて行こうと思っております。

末筆ながら、ご家族様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

敬具